

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年3月4日】第199号



保護者会

2月28日(水)は1年生と2年生、29日(木)は3年生、4年生そして5年生の保護者会が、学年別と学級別に行われました。

各学年の全体会では校長から、児童の学校での様子についてお話しした後、正しい行動規範や生活習慣を身につけることの大切さ、あるいは、子どもを大事に育てると同時に自立を促すことの必要性、学力とともに自ら学ぶ習慣を獲得することの重要性などについて説明いたしました。保護者の皆様が日ごろから学校の方針を理解し、教育にご協力くださっていることにも御礼申し上げます。

学年末になってみますと、どの学年の子どもたちも大きく成長したことには驚かされます。学力についてだけでなく、友だち同士の交流にもそれぞれの年齢に合わせた深さが出てきました。授業中にも休み時間にも、良い表情を見せる子どもが多くなっています。一方、当然ながら困りごとや悩みごとにつづかっている子どももいます。学年末のこの時期はとくに、そんな子どもたちの課題に早めに気づき、ご家族や教員とともに解決に導けるようにしていきたいと考えています。

保護者会へのお出かけに感謝するとともに、修了式まで引き続き、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

茶道に親しむ

2月29日(木)、2年生の稲花タイムでは、東京農業大学農友会茶道部の学生部員と部長の服部勉東京農業大学造園科学科教授に、茶道の手ほどきをしていただきました。和室に炉をしつらえ、子どもたちは座ってお点前を拝見します。その後、干菓子とお茶を味わいました。お薄ですが、初めての子どもたちにはちょっと苦かったかもしれません。しかし、好奇心旺盛な子どもたちは、楽しそうに日本文化を体験していました。

また、袱紗捌きについても、学生さんたちに指導していただきました。お話をよく聞いて注意深くすれば、気持ちよく袱紗が捌けます。学生さんたちも親切に、丁寧に教えてくれるのには、感謝です。茶杓、棗、茶碗、水差し、茶筌、炭、茶箱などのお茶の道具についても、教えていただきましたし、お茶の実や花も見ました。もちろん、この間、水屋とした家庭科室ではお茶の準備をしたり、洗ったり、先生方と学生さんは大忙しでした。

服部先生からもお茶についてのお話を聞き、「茶道体験認定証」を一人ひとりに渡していただきました。子どもたちは認定証を神妙に、しかし、うれしそうに受け取っていました。大学生のお兄さんやお姉さんにたくさん教えてもらうのもうれしい経験だったことでしょう。

お家でも認定証を見ながら、子どもたちからお話を聞いていただければと思います。

オンラインで

3月1日(金), 1年生は特別に, ミニ食育講義「文旦のお話」を受けました。これは高知県の土佐水谷農園 水谷任祐さんと, 1年生の教室をオンラインで結んで実施するものです。水谷さんは世田谷育ち, 東京農業大学第一高等学校から東京農業大学へ, そして大学院修士課程を修了後, 就農しました。現在は文旦農家となり, 毎年, 1年生のミニ授業に協力していただいています。

リアルタイムで水谷さんに文旦の果樹園や苗を荒らすイノシシ防止のための罠の様子を見せていただき, また, 収穫後に追熟させて甘くすること, 村には無人販売もあることなどを学びました。子どもたちとの質疑応答もあり, 楽しいひと時でした。どちらのクラスでも, 無人販売については泥棒がくるのではないかと心配の声があがりましたが, それもかわいらしい反応でした。

なお, 水谷さんには子どもたち一人一人に文旦を一個ずつプレゼントしていただきました。ランドセルに文旦を入れて持ち帰った子どもたちは, ご家族とおいしく味わったことでしょう。皮むき用のプラスチック皮むき器と文旦をご寄贈いただきましたことにも, 御礼申し上げます。

にぎやかな学校

子どもたちはおしゃべりが好きです。登校してくるなり, きのうのこと, 登校時に見たこと, 友だちのことなどを校長に話しかけてきます。授業中に廊下を通ると, 上の学年はことさら真面目な顔をして授業を受けていますが, 低学年では校長に気づいて小さく手を振ってくれる子もいて, 授業妨害になってはいけないと焦ることがあります。4年生は先週, たい肥の天地返し作業をしたのですが, 「臭かった」「寒かった」「濡れました」などの情報とともに, 「やわらかくなってました」「よくわからなかったけど, だいぶできているそうです」と教えてくる子もいて, たい肥の出来具合を想像することもできます。2階のパネルには現在, 2年生の詩が張り出してありますが, それらを読むと, お父様に料理を作ってもらった, マラソンで頑張った, 自分が落としたりカレーを食べてしまったペットの犬を案じていた, スキーに行った, おじい様やおばあ様を訪問したなど, 子どもたちの経験や気持ちが様々にあふれています。音楽室ではラデッキー行進曲を聞きながら, 身振りでも心の躍る様子を表現していました。廊下のベンチで, 先生から何かの注意を受けている子どももいます。友だちとぶつかってしまい, 痛そうに保健室にやってくる子どももいます。階段の左側通行を促したり, 液体せっけんの量を調べたり, 図書室の作業を手伝ったり, 子どもたちの委員会活動が行われる日もあります。下校の時間になると, 学級ごとに先生に引率されて行儀よく玄関まで来る子どもたち, 靴を履き替えるなり走り出して注意される子ども, 正門の警備員さんに挨拶していく子ども, 横断歩道を走って渡ろうとして注意される子どもなど, これもにぎやかになります。

毎日, にぎやかな子どもたちの様子がよく見える小学校です。修了式まであと少しです。

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子